

資料1-1

平成29年1月17日
東北電力株式会社女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(4条 耐震設計方針 建屋の耐震設計関連)

No.	審査会合日	コメント内容	回答状況	対応する資料, 備考等
1	H28.11.17	今回設計に使用する地震応答解析モデルと既工認モデルとの差異について説明すること。	本日一部回答	H29.1.17資料1-2, 1-3参照
2	H28.11.17	剛性が低下した建屋を安全設計の前提とすることについて, 基準やJEA Gへの適合関係を説明すること。	次回以降回答	
3	H28.11.17	過去の地震による建屋部材への影響に関する現状把握の結果について, 旧保安院における議論等も踏まえて詳細に説明すること。	本日一部回答	H29.1.17資料1-2, 1-3参照
4	H28.11.17	JEAGではスケルトンカーブの第2勾配, 第3勾配もコンクリートの圧縮強度や初期剛性に依存しているが, JEAGへの適合性, 力学特性上の意味等について整理して説明すること。	本日一部回答	H29.1.17資料1-2, 1-3参照
5	H28.11.17	地震後の低下剛性を考慮する場合, 今後受ける地震によって剛性が低下するという不確実性をどのように設計に反映するのか説明すること。	次回以降回答	
6	H28.11.17	設計における補強工事の取扱いの考え方について説明すること。	本日一部回答	H29.1.17資料1-2, 1-3参照
7	H28.11.17	地震直後のひび割れの部位, 性状等の補修や補強工事の前提となる事実関係について説明すること。	本日一部回答	H29.1.17資料1-4参照
8	H28.11.17	地震観測シミュレーションによる応答性状の分析とそれを踏まえた点検等とを組み合わせた要因の特定及びその原因の特定について, 網羅性・代表性に留意して説明すること。	本日一部回答	H29.1.17資料1-2, 1-3, 1-4参照

女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(4条 耐震設計方針 建屋の耐震設計関連)

No.	審査会合日	コメント内容	回答状況	対応する資料, 備考等
9	H28.11.17	東北太平洋沖地震及び4月7日の最大余震以外の地震データの分析も含めて説明すること。	本日一部回答	H29.1.17資料1-2, 1-3参照
10	H28.11.17	耐震設計の体系はSd又は静的地震力に対する弾性設計, Ssに対する機能保持の設計で構成されているため, 静的地震力が設計体系においてどれくらいの重み付けになっているのか定量的に説明すること。	次回以降回答	